

一般質問通告書

次のとおり、質問したいので通告します。

平成26年8月15日

山北町議会議員 池谷荘次郎 殿



受付番号	第1号	質問議員	9番	府川輝夫
件名	新たな核となる将来構想は			
要		旨		
<p>平成26年7月31日の第3回山北町議会臨時会において、町長は2期目を迎えるにあたり、山北町のさらなる飛躍を目指して、「元気な山北」のまちづくりのため、全力を挙げて町長職としての責任を全うする決意であると所信の一端を述べられました。</p> <p>この所信表明は、平成26年度の施政方針や第5次総合計画との整合性が図られたものでありますが、施政方針は今年度の行政全体の基本方針であり、一方、所信表明は町長が政治家として信念を持ち、自らの考えを町民に表明するものです。</p> <p>また、この表明は総合計画の重点プロジェクトや基本計画(分野別計画)を総花的に取り上げたものであり、2期目としての新たな決意、将来構想が具体的に見えてきません。</p> <p>さらに、神奈川県緊急財政対策にかかる対策や、林業の復興等、町の抱える大きく緊急性のある課題については、なんら組み込まれていません。</p> <p>そこで、所信表明にかかる次の5点について、町長に質問いたします。</p>				
<p>1. 所信表明を町民へ公開すべきではないか</p> <p>所信表明では、町民力・地域力を発揮するプロジェクトの重点施策に、「わかりやすい行政情報の提供」を掲げ、まちづくりに関する情報を町民にわかりやすい形で提供するとしています。</p> <p>町民は、この4年間に取り組む町長の将来構想(ビジョン)に期待しているからこそ、無投票での当選という結果になったのではないのでしょうか。</p> <p>2期目の就任のあいさつとして、広報やまきた、町ホームページにその想いと熱意は示されておりますが、全体の取組み事項を正確に町民に伝えるために、所信表明の全文を公開することを提案します。</p>				
<p>2. これからの4年間での新たな核となる将来構想は</p> <p>広報やまきたの「就任のあいさつ」の終わりに、「今後は自分のカラーを出しながら、1期目でできなかった部分をこれからの4年で取り組みたい」としています。</p> <p>残念ながら、所信表明では新たにに取り組む具体的事項が明確に感じられませんでしたので、改めて2期目での町長のカラー、新たな核となる将来構想の表明を求めます。</p>				

3. 神奈川県緊急財政対策にかかる展望は

神奈川県では、危機的な財政状況から脱却し、今後の政策課題に着実に対応できる行財政基盤の確保を図るために緊急財政対策を策定し、当町に設置されている4つの県営施設の廃止等を含め、県民利用施設の見直しをすすめています。

特に、大野山乳牛育成牧場は平成27年度末に機能廃止する計画ではありますが、大野山山頂を中心に周辺を含め、地域振興や観光振興等の面からも県西地域の重要な資源であることは、町民・町・議会の考えは一致していると認識しております。

しかしながら、所信表明ではこの課題に対する町長の考えが出ておりません。

当町にとって、特に重要で喫緊な問題である大野山乳牛育成牧場の機能廃止に伴う対策について、町長の考えを求めます。

4. 町産木材の利用拡大に向けた事業展開を

第5次総合計画では、林業振興の課題に公共施設木材利用計画を策定するなど、町産木材の生産、加工、販売等、利用拡大を図る必要があるとしています。

町産木材の利用拡大は、町の資源の活用であり、大変難しい課題ではありますが、一方では、雇用の場と産業の場の拡大となり、無いものに期待するのではなく、在る資源(木材)を活かすリーダーシップと強い理念が林業の振興へつながると考えます。

所信表明では、林業の振興について触れておりませんが、重要課題である町産木材の利用拡大に向け、町長の考えを求めます。

5. 新たな町内周遊コース整備の具体的取り組みは

地域のつながりを深め、交流人口を増やすためのネットワークの具体的事業として、JR東山北駅から丸山、浅間山、洒水の滝、JR山北駅を結ぶコースの整備は大変素晴らしい取り組みと考えます。

周遊コースの整備は、遊歩道を整備するのみでなく、特徴ある景観の発掘や回復、農業資源の提供やおもてなしの仕組みづくり、地域住民の関心や参画、協力等の組織整備も重要と考えますが、交流人口の増加に向けた町長の考えを求めます。

以上